

的なものを高めていくと、もっといろんな曲ができると思います。楽しみだね。

■田中さんから見て吉川さんはどんなギタリストですか。田中●初めて忠英さんの演奏を聴いたのは、大阪の楽器店のイベントだったんです。その時驚いたのは、音のダイナミックスもざることながら、すごく繊細にチューニングされるところ。そういう部分と音を出すときの大膽さ。ダイナミックな部分と音の粒子まで磨いて美しい音を出す繊細さ、その両面が印象深かったです。

吉川●よくサインでね、何か書いてって言われると「大胆かつ繊細」って書くのね。もうほんと、他人とは思えない。

田中●それから忠英さんはすごく若いんですよ！ 忠英さんと電話で話すと最後に「アッキーには負けないからな！」ってガチャーンって電話を切る！ 61歳で、アコースティックギター界の巨匠と言われているのに、この向上心。凄いです。「日々切磋琢磨だよ彬博！」って吉川さんから言ってもらつたことがあって、その言葉を大切にしています。吉川忠英さんという理想のギタリスト像があるので、僕は忠英さんぐらゐの年齢になつてもずっとギターを弾いてみたい。人生の目標です。

吉川●まだまだ。まだ20年ぐらゐは現役バリバリで弾きたいよね。

36は音が繊細で艶やか
A.R.E.は本当に凄いです。

■お二人ともヤマハのLシリーズを愛用なさっていますが、現在使っているギターについて教えてください。

田中●ライブもレコーディングもヤマハのLです。Lは弾き込むと音がだんだん自分の好みになってくる。僕はフィンガーピッカーで、ベースから上の音域まで、普通のギタリストよりもずっと広いレンジを使います。そういう弾き方をしていると、Lシリーズはそれに応えた音になつてくるところが凄いです。それに長く使っていても、全然トラブルがない。普通のギターだとネックが曲がつたりボディのブリッジのあたりが張らんたりして、音がビビつてくるから頻繁に調整に出すことになるんですが、Lではそういうことは全くありませんね。ステージで安心して毎日弾ける、プロが頼れ

るギターだと思います。

■音色についてはいかがですか。

田中●Lシリーズとはいっても、26と36で全然違う印象を持っています。僕は36が好み。26はいい意味で粗いイメージがあって、音のツブがすごくはつきりしているんです。僕のイメージだとLの26はアメリカの乾いた音。36はすごく繊細で、バラードを弾いたときに際立ちます。1音ボーンと出た後スライドをした時、音のツブがキラキラってついてくる感じ。とても艶やかで美しい音です。シェイプはLSかSJが好きですね。クビレの幅がよくて、座つて弾いても立つて弾いても気持ちよく体にフィットする気がします。

吉川●それから忠英さんはすごく若いんですよ！ 忠英さんと電話で話すと最後に「アッキーには負けないからな！」ってガチャーンって電話を切る！ 61歳で、アコースティックギター界の巨匠と言われているのに、この向上心。凄いです。「日々切磋琢磨だよ彬博！」って吉川さんから言ってもらつたことがあって、その言葉を大切にしています。吉川忠英さんという理想のギタリスト像があるので、僕は忠英さんぐらゐの年齢になつてもずっとギターを弾いてみたい。人生の目標です。

吉川●まだまだ。まだ20年ぐらゐは現役バリバリで弾きたいよね。



吉川●僕も音については同感だね。36のほうがふくよかで繊細な音。僕も36を使っていてメインはLJ36。変則チューニング用にはLJ26Cを2本使っています。

■LシリーズがA.R.E.になりましたがA.R.E.はいかがですか。

吉川●A.R.E.は良いですよ。もう明らかに違います。ボリュームも、立ち上がりも速いですね。

田中●僕はLシリーズを2年間使ってじっくり音を育てているんですが、A.R.E.を弾いてみたんです。正直言つて僕のギターよりA.R.E.のほうが良かった。ちょっと悔

しかつたんですが。普通新しいギターは1弦あたりに耳障りな部分があるんですが、それが落ちている。音が乾いていて、軽やか。でもチープではない。逆に音量があつて不思議な感覚です。

しかもA.R.E.の良い点はワインディングギターみたいに古いギターじゃないから、セットアップはいいし、キズ一つない。古いギターはたいていブリッジが無くなつていて音がバチバチいうことが多いため、古いギターの良い部分だけがあつて、悪い部分がないんです。

■A.R.T.ピックアップシステムはいかがですか。

田中●大好きです。ボディの音を拾ってくれるし、ハウリングもないし、クリアだし、GAINがすごくあつて。いろんなメーカーのギターに推奨しているピックアップをつけて徹底的に比較しましたが、A.R.T.がいちばんいいですね。普通だとピエゾマイクにマグネットを併用するものが主流なんですが、A.R.T.ならマグネットマイクを付ける必要はないです。

吉川●ほんとにいいですよ。今までライブでの音では苦労してたけどね。いろんなものを使ってきたけど、A.R.T.は本当に良いです。最近はライブでもギター用のマイクを立てないで、ラインだけ。ミキサーの人にも「音はフラットで。リバーブだけ用意してくれればいい」と言つてます。ぜひ彬忠のライブでその音を聴いて欲しいと思います。

このツアーのために
「水を汲む少女」って曲を作りました。

■『吉川忠英 VS 田中彬博 ACOUSTIC MIND 2008』の見どころを教えてください。

吉川●お互いのソロのパートがあるので、それぞれのギターの持ち味をじっくり聞いて欲しいのと、今回のツアーのために新曲を作りました。「水を汲む少女」って曲です。今日練習したんだけどね。いい曲ですよ。これが目玉かな。あとはみなさんご存じの曲を何曲か演奏しますので、ぜひお楽しみにしてください。

田中●ライブを見つめられて、僕と忠英さんが、音でつながっている部分をお客さんにもわかつてもらえたたら凄く嬉しいと思います。ぜひ見に来ていただきたいと思います。

吉川●僕はLシリーズを2年間使ってじっくり音を育てているんですが、A.R.E.を弾いてみたんです。正直言つて僕のギターよりA.R.E.のほうが良かった。ちょっと悔

YAMAHA
vol.3

LMNEWS
Interviews & News of Excellent musicians collaboration with YAMAHA musical instruments products. 2008 November

「DTXならダイニングから
数歩で、すぐセッション！」

菅沼孝三 PLAYS
Birch Custom & DTX Series

「Fumi (POLYSICS) VS
森本夏子 (bonobos)
女性ベーシスト対談！」

**FUMI PLAYS SBV
N. MORIMOTO PLAYS BB**

「バンドではMOTIF、
弾き語りはCPです」

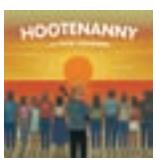
ワタリ(風味堂) PLAYS
MOTIF XS8 & CP300

「ヤマハのベースは
ウォームでリリカルだ」
TONY GREY
PLAYS TRB

「Acoustic Mindの見どころは、
二人で作った新曲」

彬忠 PLAYS L Series

Information



吉川忠英
『HOOTENANNY with
吉川忠英』
VICL-62818



THE NEW FRONTIERS
『THE NEW FRONTIERS sing
THE KINGSTON TRIO』
VICL-62871



田中彬博
『harukazeharmonics』
Harvest Moon Record
SPHM-0001



吉川忠英VS田中彬博
全国ツアー開催！

Yamaha Presents
ACOUSTIC MIND 2008

吉川忠英&田中彬博が、ヤマハプレゼンツ「ACOUSTIC MIND 2008」で全国をツアー予定。トラディショナル×フィンガースタイルという異なる魅力を持つ二人の共演をぜひ堪能ください。

ツアースケジュール

11月22日(土) 福島県福島市
11月23日(日) 東京都渋谷区
11月29日(土) 大阪市中央区
11月30日(日) 新潟県新潟市
12月 6日(日) 東京都千代田区
12月 7日(日) 茨城県つくば市
12月13日(土) 横浜市西区
12月14日(日) 広島市中区
福島AXC6F studio WGS84
J-POP Cafe Shibuya
ヤマハ心斎橋店店内サロン
ヤマハホール新潟
ヤマハミュージックスクエアTSUKUBA
ヤマハ横浜店ホール
ヤマハ広島センター7Fスタジオ

※詳しくはhttp://www.yamaha.co.jp/product/guitar/event/a_mind2008/index.htmlをご覧ください。

Instruments



LJ26ARE

メーカー希望小売価格(税込)
304,500円
A.R.E.処理により、
長年弾き込まれたような
豊かな鳴りを実現。

A.R.E.とは

温度、湿度、気圧を高精度にコントロールす
ることで、木材に物性的変化を与えるヤマ
ハ独自の特許技術。Lシリーズではボディ
トップ(表板)にA.R.E.材を採用。新品のギ
ターでありますながら、響きはまさにヴィンテ
ージ。アコースティックギターの新次元を切り
拓くサウンドです。

ヤマハウェブサイト
<http://www.yamaha.co.jp/>

ヤマハ株式会社
発行元：ヤマハ株式会社 LM 営業部 ART グループ
TEL:03-3476-1529

ワタリ(風味堂)PLAYS MOTIF XS8 & CP300

オスカー・ピーターソンを聴いて 目覚めた「男のピアノ」



生だったんですが、小さい頃「ピアノを弾きなさい」とて言われたりして、正直言って嫌いで、あまり見たくない楽器だったんです。バスケットをやっていました。
■どうしてオスカー・ピーターソンで急にピアノに目覚めただんでしょうね。
●ピアノを弾く姿が今までと全然違う感じだったんです。それまでピアノは女性の習い事、っていう感じ。でもオスカー・ピーターソンはとても男性的だった。あいう風にピアノが弾けたらいいなって思ったんです。
■高校3年からピアノをはじめて、しかもジャズってのはかなり難しかったのでは?
●「誰でも弾ける簡単なジャズ」みたいな楽譜を買ってきて、「ド」とか「レ」とか、そういうところから。最初は母親に「ちゃんとピアノがやりたい」とて言ったら「ハノンとバイエルからやりなさい」と言われたんですが、それはやりたくない。だから独学です。教本で最初に弾いたのはスタンダードの『いそしき』。この曲が弾けるようになるのに、4ヶ月ぐらいかかったかな。やっと弾けるようになった時、ピアノってもの凄く面白いんだなって思いました。それからは教本の曲をどんどんやり始めて。ある時セロニアス・モンクの曲集を

Information

約1年2ヶ月ぶりのニューシングル 遂にリリース決定!

半年の制作期間を経て完成した新曲群から風味堂にしか表現できない究極の純愛ソングをシングルカット。震えるほど真摯な愛のうたが誕生!

2009年1月21日Release NEW SINGLE「大切にするからね」
C/W「おやすみバイビー」「Sunshine Blue Sky」VICL-36484



渡和久、初のトークイベント出演決定!

イラストレーター、エッセイスト、作家、プロデュース業など多種多才の顔で活躍するリリー・フランキーさんとのトークライブ。コラボレーション企画(ミュージックシン)も必見!

2008年12月11日(木) 19:00開演
恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンホール

詳細他最新情報は<http://www.fumido.jp>まで

人気のピアノトリオ、風味堂のリーダーにしてボーカル&キーボーディストの渡 和久。ポップでハートに響くソングライティングと独特なボーカル、エネルギッシュなキーボードプレイ、そして帽子が彼のトレードマークだ。そんなワタリ氏に、ピアノの事、曲作りのこと、そしてMOTIFやCPの使いこなしについてインタビューした。

買ってきたんですが、彼には独特の「間」があるので、楽譜を見てるだけじゃ弾けなくなってきた「実際にCDを聴かないとダメだな」って思って、耳で確かめながら弾くようになりました。それからは耳コピーが中心になりました。

ステイバーが「この曲、いいだろ」と言つて言ってる気がした。

■そのままジャズピアニストを目指したわけではないですね。

●最初は自己満足でジャズが弾ければいいと思っていたんですが、大学でバンドをはじめたあたりで、ジャズからだんだん離れていきました。バンドを初めて体験した時、みんなでワーティーでやっているのが衝撃的だった。とても楽しかったんです。最初はエアロスマスやディープ・パープルのコピー・バンドです。特にディープ・パープルのキーボードのジョン・ロードが好きでした。

■今からはちょっと想像できないですね。

●そうですよね(笑)。その後、また全然違うんですが、ソウル系のバンドに入って、今度はブラックミュージックって、こんなにカッコいいんだって衝撃を受けて。その頃にステイバー・ワンダーをちゃんと聴いたんです。

■デモテープ制作で使うのはMOTIFだけですか。

●MOTIF XS8だけです。僕が使ってるMTRは古いせいか、一発でないと録音できない(笑)。だからまずテンポを決めて、適当な長さでクリックを入れるんですよ。その後にピアノを入れて、それを聴きながらドラムをリアルタイムに演奏する。間違えないように(笑)。オカズのタムも、ハットのオープンも、ちょっとスプラッシュも鳴らしたりして。とにかく一生懸命リアルタイムで入れます。オケができたら、歌もハモも入れる。なるべくテモの完成度を高くしたいんです。多分自分一人でこう



やっているモノを作る感覚が好きなんでしょうね。

■MOTIFのいい点は、どんなところですか。

●もちろんピアノタッチの鍵盤も素晴らしいんですが、出音がとてもリアルですね。ドラムの音色では「ドライスタンダード」が好きですし、エレクトリックピアノの音、ローズの音がすごくいい。生ピアノのサウンドも気に入っています。

バンドで弾くならMOTIF。弾き語りの時はCPを使ってます。

■ライブでもMOTIFを使つたらしやいますね。

●バンドでライブをやるときのピアノは、生のピアノよりもMOTIFのほうがバンドサウンドに馴染むみたいです。ジャズみたいに、ウッドベースやブラシのドラムなどアコースティックピアノのほうが良いと思うんですが、ドラムがドン!パン!って入ってベースもエレキベースの時はMOTIF。ピアノにとって肝心な中音域のところが気持ちよく出てくれるし、音がガチッと出ますからね。このガ

チッと出るところが、個人的には好み。アコースティックピアノだと逆に音がボケて聴こえてしまいます。

■CP300も使うそうですね。使い分けは。

●バンドではMOTIFですが、弾き語りだとCP300が好きなんです。CP300は、低音の音色が凄くリアル。あと本体にスピーカーが内蔵されていて、そこからも音が出る、これも実は大きいです。弾いていて気持ちが良いんですよね。ただバンドで使うとローが過ぎてベースと音域がカブってしまうことがある。だからバンドは中音のヌケがいいMOTIF、弾き語りは音が重厚で

低音がガチッと出るCP、という風に使い分けでます。そうだ、CPに入っているハープシコードの音がすごい良い。あの音はいつかライブで使ってみたいなと思っています。



まず歌詞、そしてサビメロを大切に。それがワタリ流作曲。

■読者にも曲を作つてみたいという人が多いと思います。曲を作るコツは?

●まず言葉が大事です。曲を作る時は歌詞を大切にして欲しいですね。僕は基本的には歌詞を先に作りたいんです。で、歌詞の世界ができたら、どういう雰囲気でこの言葉を伝えようかな、って考えます。明るい曲に明るい歌詞が乗るだけじゃなくて、たとえばすごい明るい歌詞だったら、あえて曲調を暗めにするとか。明るいオケなのに言つてることがちょっと悲しいとか、そういうコントラストが面白い。それからサビのメロも大事で、ここだけはちゃんと聞かせたいっていう想いを込めて作ります。いろいろ音楽理論もあると思うんですけど、僕は「自分が気持ちいい」と思った音を見つけて、自分の感覚を信じて作つてます。

■歌詞はどんな風に作るのですか。

●僕の作詞のパターンは、これまた毎回違うんですが、ある一言が出たら、そこから紡いでいく。自分が

思つてることをそのまま歌詞にすることもあるし、全く自分とは別、架空の人を作つてストーリーを紡ぐこともあります。それから、自分が知つてゐる人を主人公にすることもあります。

■ワタリさんは、どんな時に音楽を作つるのですか。

●昔は言葉やメロディを思いついた時に曲を書いてました。スケジュールもあるので、曲作りの期間を設定して、そこでホテルにカンズメになって書いてます。集中できるし、自分を追い込んだ方が僕は曲が書かやすいんですよ。MOTIFをホテルの窓際に置いてね。一人で閉鎖された場所の方が僕は曲が書かやすいです。最初の曲ができるまでがソラいですね。一曲できると、あとは流れが見えてたりしてスルスルっと書けることがあります。

ロックのピアノトリオには。 すごく可能性があると思う。

■最近ピアノ弾きがいるバンドが少ないので、ピアノでロックをやってみたいという人にアドバイスをいただけますか。

●ピアノという楽器は音域的に全部のレンジをカバーできる楽器。バンドサウンドの時はベースより低音を出していることもあって、そういう楽しさがあります。でも、ピアノだからって特に難しく考えなくても、意外に普通に弾いてもバンドの音は成り立ちますよ。ギターと同じようにピアノにもワーコードがあるし、カッティングをやろうとしたらそれはそれで面白い。ピアノトリオのロックって、決まりがないし、すごい可能性を秘めている編成だと思うんです。自分なりのやり方で、ぜひ試してみてください。

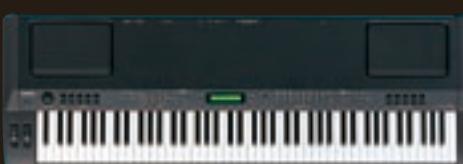


Instruments



MOTIF XS8
メーカー希望小売価格
388,500円(税込)

バランスドハンマー鍵盤採用の88鍵モデル



ピアノタッチを実現したステージピアノ

CP300
メーカー希望小売価格
270,900円(税込)

FUMI PLAYS SRV / N. MORIMOTO PLAYS BB



フミ(POLYSICS)VS森本夏子(bonobos) 女性ベーシスト対談!



二人の出逢いはベーシスト飲み会。 女子は4人しかいませんでした(フミ)。

■2人はどこで知り合ったのですか。

フミ●ベーシスト飲み会っていうのがあるんです。ベーシストだけが集まる飲み会。そこで知り合いました。今は女性が増えたけど、最初の頃は女子は40人位の中で4人だけ。ベースの話は一切禁止で、どうしてもしたかったら、野球に例えてするという面白い会なんですね。

森本●最初はほんとに女子が少なかったけど、いまは増えてきたよね。

■お二人は最初からベースを弾いていたんですか。

フミ●私は最初、別のバンドでギターを弾いてました。あ

る時POLYSICSのリーダーに誘われて、POLYSICSで演奏することになって、ベースはそこからです。

森本●私も高校生の時はバンドができなかったのでギターを弾いてました。でもリズム隊が好きで、バンドだったらドラムかベースがやりたかったんです。最初に出逢ったのがbonobosのドラムの辻ケンだったので、じゃ私はベースをしようって、ベースをはじめました。

ベースはグループ担当。 楽しいけど責任重大です(森本)。

■ベースを弾きはじめたときの苦労は?

フミ●ギターに比べると弦を押さえるのに力がいるんだな、って思いました。あと曲中でベースが抜けたらダメ。しっかり弾いてないと曲が成り立たないので大変かな。バンドの支え役ですね。



■ではベースの楽しさは、どこにあると思いますか。

森本●歌と一緒に思うし、グループはベースが出す、という気がしてるので、そ



SETSTOCK'08

これが楽しいところです。ドラムはビート担当でベースはグループ担当という感じ。楽しいけど責任はむちゃくちゃ重大です。

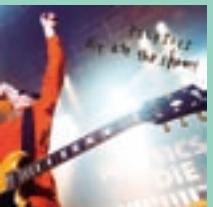
フミ●POLYSICSはシーケンスを使う日もあるので、機械を使った演奏の中で人間らしいグループをベースで出すっていう役割です。

フミさんは男前なベーシスト(森本)。 森本さんは凶暴なローを出す人(フミ)。

■女性ベーシスト同士として、お互いをどう思っているか聞かせてください。

フミ●森本さんは雰囲気はおっとりしてるけど、実は凶

Information



POLYSICS New Album

We ate the show!
2008/10/29 Release
KSCL 1316-1317

世界を巡るポリシックスの一つの到達地点、2008年6月29日、新木場スタジオコスモでの圧巻のライブをCD+DVDで完全収録。ハイエナジーでハイパワー、ロックの破壊力とばかりかしいエンタテインメント具合が同居したこれまでライブ、これまでポリシックスな一枚。

POLYSICS Live infomation

POLYSICS JAPAN TOUR 2008!!!! ULTRA FIGHT OR DIE!!!!

- 11/26(水) 名古屋CLUB DIAMOND HALL
- 11/27(木) 大阪なんばHatch
- 11/29(土) 福岡DRUM LOGOS
- 11/30(日) 広島CLUB QUATTRO
- 12/03(水) SHIBUYA-AX
- 12/04(木) SHIBUYA-AX
- 12/05(金) SHIBUYA-AX

bonobos

Live infomation

- 11/15(土) BINGO BONGO SOUNDS
Fukuoka BEAT STATION
- 12/01(月) 名古屋 CLUB QUATTRO
- 12/02(火) 大阪BIGCAT
- 12/08(月) LIQUIDROOM
- 12/28(日)、12/29(月)、12/30(火)、12/31(水)
※28日(日)に出演
- COUNTDOWN JAPAN 08/09
- 12/29(月)、12/30(火)、12/31(水)
※31日(水)に出演
- COUNTDOWN JAPAN 08/09 -WEST-
- 12/29(月)、12/30(火)、12/31(水)
※31日(水)に出演

暴なローを出す人っていう感じ。涼しい顔してドーンっていう凄いローを出すんです。

森本●フミさんは、男前なベーシストですよ。世界のギターキッズたちを虜にして! 中学生や高校生が「バンドやりたい!」という初期衝動をちゃんと残してる。すごいことですね。

BBはワングルーブで押すノリの ベースに向いた音だと思います(森本)。

■森本さんはBBの5弦モデルをお使いですね。

森本●最初は別の4弦だったんですが、5弦が欲しいなと思ったときにちょうどヤマハのBBの5弦と出逢って。BBは音作りがしやすいし、出力もある。あとヒップホップ系のベースっていうか、ワングルーブでずっと押す、みたいなノリのベースを弾くのに凄いい音だなって思って。

■4弦から5弦へのスイッチは大変でしたか?

森本●最初はメチャクチャ苦労しました。すぐ弾けると思っていたんですけど、弾いてみると別の楽器みた

い。でも5弦になって出てくるフレーズも変わるし、ベースの役割がさらに明確になった気がします。

■フミさんはSBVですね。

フミ●今使っているのはSBV。ここ6~7年、ライブもレコーディングもSBVだけで。全部で8本ぐらい持っています。このベースの好きなところはレスポンスが速いこと、音がボーンっとヌケる感じ。ちょっとじゃじゃ馬なところが凄い好きなんです。



ベースは、お母さん みたいな感じ。(森本) まとめ役、ハンバーグのつなぎ。(フミ)

■お二人のお話を聞いているとベースは女性に向いているような気がしてきました。

森本●私はそう思います。包容力や芯の強さが必要やしね。お母さんみたいな感じ? とても強い楽器ですから。なんか母性とか大地というか。

フミ●あたしなんかハンバーグのつなぎみたいな気分です。まとめ役。一個にまとめる何かみたいな。

■最後に今後の活動について聞かせてください

フミ●POLYSICSは10月からアメリカツアー。帰国してすぐ日本のライブツアー。10月末にライブのDVDがリリースされる予定です。ライブばっかりですね。

森本●いままでアーティストに向けて曲づくりをしていて、アーティストを年内にレコーディング、年末にはツアーがって。春にはアルバムを出したいです。

ベースはセンスの塊。ジャンケンで勝ってやる楽器になって欲しいです。

■読者のベーシストへのメッセージをお願いします。

森本●ベースは何かと人気のない、ジャンケンで負けたり、余っている人が回される楽器でありがちなんですが、そんなことはなくて、一番リズム感とセンスの塊が必要な楽器。とても大事なバンドの要なので、みなさん、すんで弾きましょう。ジャンケンで勝ってベースをやるぐらいになって、ベース人口がもっと増えると嬉しいです。

フミ●「基礎練習もライブも楽しむべし」って感じ。ベースってほんと、楽しいですよ。あと、バンド女子へ。ライブで打ち上げに出て、お化粧を落として寝るようにしてください。それがバンド女子の捷です。



TONY GREY PLAYS TRB



ヤマハのベースは、ウォームでリリカル。 しかもラウドにもダイナミックにも演奏できるんだ。

伝説のジャズギタリスト、ジョン・マクラフリンの甥であり、上原ひろみ率いるHIROMI'S SONICBLOOMのレギュラー・メンバーとしても世界をかける新世代ジャズベーシスト、トニー・グレイを来日中にキャッチ!

■ベースをはじめたのいつですか?

●19か20の頃。その頃自動車事故で背骨を折ってしまった。落ち込んだ僕を元気づけようとして家族がベースを渡してくれた。なぜベースだったのかは分からぬけどね。それまで楽器を弾いたことはなかったんだけど、叔父のジョン・マクラフリンのアドバイスもあって、すぐに夢中になったんだ。

■上原ひろみとの出逢いは?

●8年ぐらい前、バークリー音楽学院で。彼女は当時から凄かった。僕の卒業コンサートで弾いてもらったり、お互いに呼び合って親しくなったんだ。もう5年一緒にプレイしてるんだけど、彼女の音楽はいつもチャレンジングで、エキサイティングだ。ヒロミと一緒にバンドをやるようになって、僕は自分のボイスを見つけることができた。彼女はいつも僕に「歌うべきベース」を作ってくれるからね。

■ヤマハの6弦ベース(TRB)をプレイしていますが、気に入っている点は?

●これは僕のためにヤマハが作ってくれたベースなんだけど、弾きやすくて体にフィットするし、とても快適にプレイできる。音もグレートだ。僕はメロディをプレイするのが好きで、暖かいトーンが好みなんだけど、ヤマハの音は暖かくてリリカル。しかもいろんなジャンルに対応できる柔軟性もある。ラウドでダイナミックにもプレイできるベースだ。サイレントベースも使ってるよ。NYのバーでプレイする時に愛用している。アコース

ティックベースは運ぶのが大変だが、これはコンパクトで、音はとてもオーセンティック。とてもいいね。

■ニューアルバム「チェイシング・シャドウズ」について聞かせてください。

●このアルバムのほとんどの曲はヒロミのバンドで世界をまわしながら作ったんだよ。世界中でいろんなスタイルの音楽、たくさんのミュージシャンと出逢った。彼らに参加してもらって作り上げたアルバムだよ。

■今後のプランを教えてください。

●今、ヤマハミュージックメディアから出版予定の教則本を作っているんだ。日本のベーシストにはぜひ読んでほしいね。それから次のソロプロジェクトも構想中だ。今回はたくさんのゲストを集め作って作ったんだけど、次作は固定したメンバーで音楽を掘り下げたいと思ってるんだよ。

■最後に読者、特にベーシストにメッセージをお願いします。

●大切なのは全ての音楽に対してオープンでいること。そして有名になろうとか、偉大なミュージシャンになろうと思うのではなく、音楽に対して誠実であること。エイブラハム・ラボリエル(b)が言ってたけど、練習は時間ではなくて中身。「何のため練習しているか」を意識して練習することが大切だ。テレビを見ながら1~2時間怠惰な練習をしても、怠惰な演奏しか生まない。練習の意味をよく考えてプレイすべきだね。健闘を祈ってるよ。



トニー・グレイが愛用するのは
特別仕様のTRB(6弦)

Information



トニー・グレイソロアルバム
「チェイシング・シャドウズ」/
TONY GREY
ISOL DISCUS ORGANIZATION:
GQCP-5003

菅沼孝三 PLAYS Birch Custom & DTX Series

ハードロックから、フュージョン、ジャズ、ポップスまで幅広いジャンルで圧倒的なドラミングを披露する菅沼孝三は、その高速で正確なドラミングから「手数王」と称されている。今回はそのドラミングの秘訣を探るべく、ご自宅に突撃インタビューしてみた。

バーチはボトムを支える感じ。
マイプルは明るいサウンドです。

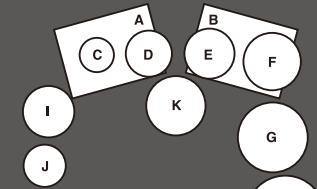
■今日はご自宅にまで押しかけてすいません。まずお宅で使ってのドラムを教えていただけますか。

●家のスタジオにあるのは2セット。ヤマハのロックツアーカスタムとマイプルカスタムです。ロックツアーカスタムは特注カラー仕上げで「針ラメ」という特殊な塗装。マイプルカスタムも仕上げが特注仕様で、ヴィンテージを1回だけ塗っただけのもの色が経年変化で濃くなってきたんですが、このごろ特によく鳴るようになりました。バスドラが深胴であとはレギュラーです。

■ライブで使ってのセットは?

●バーチカスタムアブソリュートで、サイズはユニバーサルサイズです。セッティングはセット図を参照という事で(笑)。

Birch Custom Absolute Nouveau Lug System Universal size



A:BD22"×17"
B:BD22"×17"
C:TT8"×9"
D:TT10"×9"
E:TT12"×9"
F:TT13"×10"
G:FT18"×16"
H:FT18"×16"
I:SD12"×5 1/2" (SD2255)
J:SD10"×5 1/2" (SD2055)
K:SD14"×5 1/2" (Kozo Saganuma Model YAMAHA SD645 KS)

■マイプルとバーチはどんな使い分けをしてますか?

●マイプルは明るく鳴ってくれるんですよ。バーチはもう少しダークな感じ。ボトムを支える感じかな。バーチはバンドサウンドの時に混ざりがいいです。僕が参加してる

「Fragile」というバンドはギターが矢堀孝一、ベースが水野正敏でどちらかというとウェットなサウンドだからバーチが向いているんです。マイプルはサウンドの中でドラムが立つてくるので、ドラムがフィーチャーされやすい。軽く叩いても前面に出てくるイメージです。

ヤマハのドラムはマイクのりがいい。
倍音も、美味しいところだけがある。

■ヤマハドラムのいいところは?

マイク乗りがよくて、レコーディングにいい楽器ってことは、ドラマーがみんな口を揃えて言いますね。レコーディングエンジニアの本音としてはヤマハで録るのがいちばんラクらしい。バランスがいいんじゃないですかね。体感音圧が爆発的にあるわけじゃないのに、太いローが出ます。それでいて繊細なチューニングにも反応してくれます。倍音のバランスもロー、ミッド、ハイとそれぞれに美味しい部分があつて、決してドンシャリな音ではありません!

テーブルから数歩すぐ音源とセッション。
DTXがあれば、いつでも気軽に練習できる。

■和室にはドーンとDTXがありますが……。

●ぼくはラップトップパソコンを仕事に使ってるんですけど、座ったところが仕事場



みたいな感じなんです。よくダイニングテーブルで仕事してると、次にやる曲の音源がメールで送られてくるんですね。その曲をちょっと聴いて2、3歩いてパソコンをDTXのAUXにをつなげば、もうその場でバーチャルなセッションができる。これは便利。夜中もできるし、生のドラムより体力を使わなくて叩ける。構成を掴んだり手順を考えるのにバッチリです。

■DTXは練習に向いた楽器なんですね。

●打感がいいので、練習に適していますね。最近は最初のドラムがDTXという子も増えてきました。音源のドラムの音が良いからドラムの「いい音」を自然に覚えることができます。これはアコースティックドラムを叩くときにもプラスになりますね。もうひとつ良いのは、DTXを叩いていると無駄な力が抜けるってこと。初心者の場合、アコースティックドラムだとつい思いっきり叩いてしまいますが、あまり良いことではないんです。その点DTXなら、リラックスしてプレイできます。



菅沼モデルは素直なサウンドと全面アタリのスナッピーがキモ。

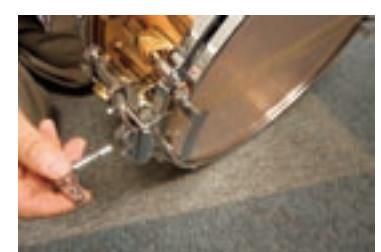
■菅沼孝三シグネチャースネアについて教えてください。

●これはカッパーシェル。カッパー(銅)は楽器に適した素材で、ティンバニーにも使われるものです。デカい音が出て、しかも音質が素直。普通は強度の問題があつて、カッパーシェルは真ん中に絞りがあるんですが、これは試行錯誤を重ねて絞りなしのカッパーにしました。だから音がストレートです。それからスネアはスナッピーの反応が命なので、全面アタリのスナッピーを採用しました。全面アタリのスナッピーの形を知らない人も多いと思うのでよく見てほしいんですが、スナッピーの張りとは別に、ボトムの面からスナッピーまでの距離を変えられます。

■スナッピーは大事なんですね。

●スナッピーって「買ったままでいじっていない」と言う人が多いんですね。ぜひいろいろ試して欲しいですね。張りをタイトにするとツブ立ちは出るけど、8ビートを叩いた時などのバックビートの「ザ」って音は出ないんです。ディケイが短い。かといつて緩くしゃうと、細かいティッピングは出ない。2つ打っても3つ打っても同じみたいな。全面アタリのスナッピーはスナッピーのテンションとボトムまでの距離が別々に調節できるから、タイト&ルーズができます。

■このスネアはどんな人にお薦めですか。



●いま、ウッドのスネアを使ってて、もう一台何かほしい、という人に試してもらいたいです。スチールの前にカッパーかなと。サウンドがスチールより柔らかくて繊細なのに、しっかりパワーがあります。もちろん全面アタリのスナッピーもぜひ試してもらいたいです。

全面アタリのスナッピーはスナッピーの張りとボトムまでの距離を独立して調整できる。

アジア・オセアニアで流れているヤマハのバイクのCMに出ました。変拍子バシバシです。

■近況を教えてください。

●11月には「Fragile」のレコーディングに入ります。それからヤマハバイクのCMに出演してまして、アジア・オセアニアで放映されています。ヤマハ発動機が新たに開発したエンジンを搭載したYZF-R1というバイクのCMなんですが、このエンジンの特長が「不等間隔爆発」なんです。それを変拍子としてドラムで表現するという、とんでもないCMです。カッコイイCMに仕上りました。Youtubeなどで見られますので、よかつたらご覧ください。

■最後にドラマーの読者にアドバイスをお願いします。

●やっぱり基礎は大事。ルーディメンツをコツコツとやっておくと、絶対いいドラマーになれると思います。ピアノだってバイエルからはじまるように、ルーディメンツは1930年からある由緒あるものだから、やってみたほうがいいですよ、実に奥深いです。



Instruments



菅沼孝三シグネチャーモデル
SD645 KS

メーカー希望小売価格
66,150円(税込)
14"×5 1/2"カッパーシェルの
スネアドラム。



SILENT SESSION DRUM®
DTXTREME III
スタンダードセット
オープン価格

Information

菅沼孝三ホームページ
<http://www.kozo.org/>
菅沼孝三のスケジュール、
使用機材、民族楽器のコレクション
などを掲載。

吉川忠英 & 田中彬博 彬忠 PLAY L Series

あき ひろ

アコースティックギター界の巨匠、吉川忠英と新星、田中彬博。親子ほど年の離れたこの二人が新しいLシリーズを片手にツアーをするという情報をキャッチ。リハーサルに押しかけ、二人の出逢いから、ギターの事、そして今回のツアーの情報を聞き出したので紹介しよう。



「水を汲む少女」という絵が好き?
オレもだよって! これはもうピックリ

■最初にお二人の出逢いについて教えてください。

吉川●あるイベントで彬博の演奏を聴いたら、僕と間の取り方が似てるな、と思ったんですよ。で、その後打ち上げで彼と話したら、秋田の平野政吉美術館という

美術館に展示されている「水を汲む少女」(リオス)という絵が好きだって言ったんです。これはもうピックリで。実は僕もその絵が70年代から大好きで、絵はがきを買って配つたり、いつも仲間にその話をしていたんですよ。偶然同じ絵を気に入っていたなんてね。自分以外の人から「水を汲む少女」の話を聞くのは初めてだつ

たので、とても驚きましたよ。ま、それだけじゃないんですが、いつか一緒にやろうよって言って、この8月に実現したのが「彬忠」なんです。

■「間の取り方が似ている」というのは?

吉川●リズム感がいつしょなんと思う。あえて言うならグルーヴが似てるっていうのかな。

田中●初めて忠英さんと合わせたときから、気持ちがいいんです。一緒にバツと音を出した瞬間にいちばん気持ちいい部分が、ぴったりとあう気がします。

吉川●二人ともソリストだからね。なかなか一緒にやつて気持ちいい、っていう相手はいないんですけど、彬博には「巡り会えた」という感じがします。僕はギターつて、打楽器だと思っているところがあってね。小学校の頃は太小鼓、その後は吹奏楽部でバーカッショングでたんですよ。今でもドラムを叩くね。ギターもリズムが良いことが大事。グルーヴを出せるかどうかが重要なんですよ。その点、彼のリズムはとてもいいし、僕も安心して共演できる。

田中●僕も高校まで吹奏楽でバーカッショングをやってたんですよ。コンサートで使う打楽器は一通りやっててます。そんなところも似てますね。

忠英さんと電話で話してると最後に
「アツキーには負けないからな!」って(笑)

■吉川さんから見て田中さんはどんなギタリストですか。
吉川●彬博のギターねえ。スゴい才能を持っている人だから、いろんなところで卓越したものが聴こえるね。まだ若いから今の実力に加えて、精神的なもの、情緒